

エポマリンHB(K)			EPOMARINE HB(K)			
一般名称	エポキシ樹脂塗料下塗					
適用規格	SDK P-417(2019年7月 鋼橋塗装設計施工要領)					
系統	ケチミン硬化エポキシ樹脂厚膜形塗料(2液形)					
主な用途	【橋梁用】				など	
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート	
	—	—	—	—	—	
特長	1)耐海水性・耐薬品性に優れ、大気汚染の激しい雰囲気における高度な抵抗性がある。 2)強じんで、耐摩耗性が優れている。 3)乾燥性が優れ、屋外で使用してもアミンブリードや白化が少ない。 4)厚膜形高性能防食塗料である。					
塗料性状	塗料密度(比重)	1.36(グレー)				
	溶剤密度(比重)	0.87				
	加熱残分	69%(グレー)				
法令など	ベース		硬化剤			
	劇物表示 (品名・含有率)		SDSをご参照ください			
	労安法上の 表示有害物		SDSをご参照ください			
	使用有機 溶剤種別		SDSをご参照ください			
	消防法による 危険物区分		第2石油類(非水溶性)		第1石油類(非水溶性)	
	硬化剤の成分 による区分		ケチミン			
	ホルムアルデヒド 放散等級		—			
	製品情報	ベース		硬化剤		
		荷姿	20kgセット	18kg	2kg	
		混合比(重量比)		ベース:硬化剤=9:1		
		主な色(色相)		グレー(N-7近似)		
	素地調整	○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。				
使用方法	調合方法	ベースに対して硬化剤を所定の割合になるまで少しずつかき混ぜながら加えたのち下記のシンナーを規定内で混入し、十分攪拌したのち使用する。				
	熟成時間	5～10℃の場合は10～15分間(10℃以上は不要)				
	使用シンナー	標準 : テクトEPシンナー 夏期 : テクトEP遅乾シンナー				
	希釈率(重量比)	エアレス	5～15wt%	(弊社推奨値)		
	エアレススプレー	2次圧	10MPa(100kg/cm ²)以上			
	塗装条件	チップNo.	163-517～721 (日本グレイ社製)			

エポマリンHB(K)

EPOMARINE HB(K)

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗り	120	250	540
—	—	—	—

注) 標準塗付量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目			10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触		5時間	3時間	2時間	2時間	
	半硬化		20時間	16時間	10時間	10時間	
標準塗装間隔 注)	最短	1日					
	最長	10日					
可使時間			8時間	5時間	3時間	2時間	

注) 上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 10℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: エポマリン下塗ミストコート用、エポマリンHB(K)

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

主な適用 強溶剤: セラテクトF中塗

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用
(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	51.5	1.9
	5	47.8	2.1
	10	44.6	2.2

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容はSDS(安全データシート)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の 1) 被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物などは塗装前に除去してください。
注意事項 2) 塗膜が乾燥過程で水(降雨など)の作用を受けると白化することがあります。
この場合は軽くサンドペーパーなどで表面を研磨して表層を除去してください。
3) 塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
4) 塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。